

フキノトウが地面から顔を出し、いよいよ裏磐梯にも春がやってきたことを感じますね。
なじみ深いけれども意外と知らない、春の味覚フキについて調べてみました。



▲フキノトウ（若い花茎のこと）

フキ（蔴）（キク科フキ属）

花の時期：4～5月

分布：本州（岩手水沢以南）～沖縄、朝鮮・中国

多年草

湿った野原や湿地、川縁などでよく見られる。

若い花茎のことをフキノトウといい、葉柄(茎)とともに食される。

亜種に高さ2m、葉の幅が1.5mになるアキタブキが知られる。

分布：本州（岩手・秋田以北）・北海道

おすすめ フキの雄雌

多くの植物はひとつの株に雄雌が一緒にありますが、フキは雄株と雌株に分かれている少数派です。
花頭(小さな花の集まり)を観察すると簡単に雄株と雌株が見分けられます。



雄株

星型の白い花(雄花)が多く
全体的にクリーム色

(雄株は花粉を出す
役目を終えると、
枯れてしまいます)



雌株

白く細い糸状の雄の小さい花が多く
繊細な印象



ハナアブやミツバチなどが
蜜を求めて花を訪れ、
雄株から雌株へと花粉を運びます。

雌株が成長すると
種子をつける



▶5～6月頃の雌株

花茎が高さ約40～70cmに成長し、
同じキク科のタンポポによく似た
冠毛を持つ瘦果(綿毛のついた種子)を
風に乗せて飛ばします。

山菜採りの注意点

- ・単独での入山は避け、家族などに行先や帰宅時刻を伝えましょう。
- ・有毒植物を誤って食べると食中毒になる可能性があります。食用と確実に判断できない山菜・野草類は「採らない」「食べない」「売らない」「人にあげない」ようにしましょう。

厚生労働省 有毒植物による食中毒に関する注意喚起リーフレットより

※私有地や保護された地区での植物採取は行わないでください。

五色沼自然探勝路内や磐梯山周辺は特別保護地区に指定されており、動植物の採取等は法律で禁止されています。